

速硬化カラーウレタン塗膜防水材 F★★★★

フローン速乾110

施工後4～5時間で硬化!
プライマーからトップコートまで1日で施工可能!

製品仕様

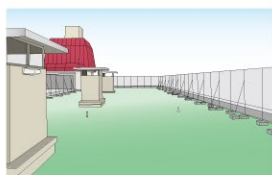
	容 量			配合比		標準使用量 (kg/m ²)	塗装面積 (2kg/m ² の場合)	外 観		硬化物 密度 JIS比重量計、23℃
	A液	B液	セット	A液	B液			A液	B液	
フローン速乾 110	6kg	6kg	12kg	1	1	2kg (1回塗り)	6m ²	透明 粘稠液	着色 粘稠液	1.3

タイプ別 施工最適温度一覧

タイプ	施工最適温度
春・秋型	15～25℃
夏 型	25～35℃
冬 型	5～15℃

※可使時間は、施工時の温度により大きく変化しますので、施工される温度に合ったタイプを必ず使用して下さい。
特に夏場の30℃以上で直射日光が当たる箇所での施工は避け、涼しい時間帯を選んで施工して下さい。

用途



①屋上



②ベランダ

乾燥時間

可使時間			上塗可能 時間	歩行可能 時間	乾燥時間	
春・秋型	夏型	冬型	時間	時間	硬化	完全硬化
15～ 25分	15～ 25分	15～ 25分	4～24 時間	4時間 以上	4時間 以上	1日間

スーパートップ遮熱標準希釈率一覧

※トップ14シンナーで下記の希釈割合でご使用下さい。

スーパートップ遮熱	希釈率
常 備 色	0～15%
白 ・ 淡 彩 色	10～20%
中 彩 色	5～15%
濃 彩 色	0～10%

(23℃ ローラー施工時)

常備色



A-2/エメラルドグリーン A-4/フォックスグレー

※この色見本は、印刷によるもので現物と異なります。

標準工法

工 法 名	工程	材 料 名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23℃)	備 考
QW-1.5HZ工法 軽歩行用 	1	フローン速乾プライマー	0.2	1～12時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布する。
	2	フローン速乾110	2.0	4～24時間	A液：B液＝1：1（重量比）の割合で計量、混合し、電動攪拌機で十分に攪拌後、コテにて塗布する。
	3	スーパートップ遮熱トップ14シンナー	0.2 0.02～0.04	—	A液：B液＝1：2（重量比）の割合で計量、攪拌後、トップ14シンナーにて希釈、電動攪拌機にて十分に攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布する。 ※希釈率は上記希釈率一覧をご参照下さい。

※吸い込みの激しい面には、フローン速乾プライマーを2回以上塗布して下さい。

●改修

ウレタン塗膜防水材及びトップコートの塗替えには、フローンプライマー-USを使用して下さい。

※その他の塗替えについては、当社にご相談下さい。

●コンクリート・モルタル下地の確認と調整

●下地の乾燥

①コンクリート・モルタルの養生不足は、水分、アルカリの影響により防水層のフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。したがって、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。

5%以下でも温度が急上昇の時は湿気の突き上げがあるので注意して下さい。

②コンクリート・モルタル打設後の養生期間(目安)

夏期:3週間以上 冬期:4週間以上

③降雨直後で下地が全面的に水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。

④部分的にしめっている場合は、バーナー等でその部分を乾燥させて下さい。火気を使用しますので溶剤系塗料を同時に取り扱うことは避けて下さい。

●不陸調整

①凸部や突起物はサンダーで削り、平らにして下さい。

②不陸・凹みなど下地の凹凸がはげしい場合はフローン無機防水αで平滑にして下さい。

③ルーフトレンの位置にも注意し、水溜りが絶対にできないようにして下さい。

●モルタルの浮き

①浮きの程度が激しい場合には、浮いている部分をはつて強固な下地面を出し、新たにモルタルを打設して下さい。(必ず打継用接着剤を使用)

浮きの程度が小さい場合はエポキシ系注入剤を注入して下さい。

●清掃(レイタンス、脆弱部、砂、ゴミ、ホコリ等)

①レイタンスや表面が脆い部分はサンダー、ケレン棒、金ブラシ等で除去し、丈夫な下地を出して下さい。

●勾配

①下地の勾配は1/50~1/100にして下さい。

●金属物との取り扱い

①貫通パイプ、ルーフトレン、手すり金具等の金属廻りは塗料、サビ等をケレンし、モルタルとの取り扱い部をUカットしてプライマー塗布、乾燥後、フローンシーリングを充填して下さい。特にドレン廻りはガラスクロスを使用し補強して下さい。

●目地処理

①目地は既存の充填材を除去し、プライマー塗布、乾燥後、バックアップ材またはボンドプレーカーを挿入、フローンシーリングにて処理し、ガラスクロスを使用し補強して下さい。

●出入隅

①入隅は通りよく直角にして下さい。

②出隅は鋭角を避け、通りよく45度で5mm程度に面取りして下さい。

●施工上のご注意

①フローン速乾110の可使時間、硬化時間は、施工時の温度に大きく影響されます。最適温度以外での施工は施工不良を起こすことがありますので、温度には充分注意し、温度条件に合うタイプで施工して下さい。

*5℃以下での施工は避けて下さい。また、30℃以上で直射日光が当たる箇所での施工は避け、涼しい時間帯を選んで施工して下さい。

②フローン速乾110は、水分と反応硬化しますので、湿度、雨、汗等にも十分に注意して下さい。

③溶剤希釈は、基本的には行わないで下さい。冬期に、粘度が高くなり、希釈する場合は、トップ14シンナーを使用し、添加量はA液・B液合計量の2%(重量比)を限度とします。過剰なシンナー希釈や、トップ14シンナー以外の希釈剤使用は硬化や塗膜物性の低下等を起こしますので避けて下さい。

④プライマー塗布後、次工程までの間隔があたり雨に打たれた場合は、プライマーを再塗装して下さい。

⑤動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。

●取り扱い上のご注意

①フローン速乾110は湿気、水分と反応硬化します。開缶したものは速やかに使用して下さい。

②施工時は、換気に充分注意し、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、保護手袋等の保護具を着用して下さい。

③材料が付着した場合は、速やかに洗い落として下さい。万一目に入った場合は、多量の水でよく洗い、痛みの取れない場合は医師の診察を受けて下さい。

④材料は冷暗所に保管し、火気に充分注意して下さい。また、施工現場での保管は、雨等が当たらないようにし、外部の野積は避けて下さい。

⑤施工後はよく手を洗い、十分にうがいをして下さい。

●ご使用時・維持管理上のご注意

この防水層の機能と美観を保つため、以下に注意して下さい。

①トップコートは、降雨や歩行等により3~7年で徐々に磨耗します。防水層の機能を維持するため、3~7年毎に塗り替えを行って下さい。(有償)

②保護塗料が薄くなったり、ひび割れ等が生じた場合は管理会社等にご相談の上補修して下さい。(有償)

③防水層の洗浄には家庭用の中性洗剤を使用して下さい。酸、塩素系の洗剤は防水層に損傷を与える恐れがあります。

④防水層の清掃は柔らかい布や雑巾を使用し、充分に乾燥させて下さい。金属ブラシや金属タワシを使用しますと傷がついたり、損傷する恐れがあります。

⑤排水口や排水溝、ドレン廻りのゴミ、泥は定期的に点検、除去し、水溜りのないようにして下さい。

⑥防水層の表面が水などで濡れている場合は滑りやすいのでご注意ください。

⑦ハイヒールやスパイクシューズ等、防水層を損傷する恐れのある履物で歩行しないで下さい。

⑧防水層の上で火気のご使用はお止め下さい。タバコの吸殻の投げ捨てや花火、溶接作業などはしないで下さい。

⑨防水層の上でゴルフや自転車等の練習はお止め下さい。クラブや車輪等で防水層を傷つけることがあります。

⑩防水層の上で重量物を引きずったり、落としたりしないで下さい。

⑪防水層の上に椅子やテーブルを置く場合は、足にゴムキャップをかぶせる等して、防水層を保護して下さい。また、物置等の重量物を置かないで下さい。

⑫防水層の上に植木鉢、プランターを置かれる場合は直接置かず、台等を使用し、下部の風通しを良くして下さい。

引火性あり	警 告	有害性あり
	1.引火性の液体である。 2.健康に有害な物質を含有している。 3.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 4.蒸気を吸入すると人により喘息様症状を起こすことがある。	
業 務 用	<注意事項>1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますから、取り扱いについては、 容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取り扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。	

●お問い合わせは・・・

 **東日本塗料株式会社**



本 社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(29)17372(代) FAX.022(29)17320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063
 北海道出張所 TEL.03(3693)0851 FAX.03(3697)2306